○水生生物モニタリング調査結果一覧（猪苗代湖（北岸）Ⅰ・猪苗代湖（南岸）Ｊ）

＜猪苗代湖(北岸)Ⅰ・猪苗代湖(南岸)Ｊ　水質底質採取項目＞

項目 調査地点	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質（Cs）	水質（Sr）	底質（Cs）	底質（Sr）
Ｊ－１	○	○	○	○	○	○

＜猪苗代湖(北岸)Ⅰ・猪苗代湖(南岸)Ｊ　現場測定項目＞

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時			水質	底質				その他	
	緯度	経度	日	時刻（水）	時刻（泥）	水温（℃）	泥温（℃）	性状	色相	混入物	全水深（m）	透明度(m)
Ｊ－１(表層)	37.4203°	140.1008°	R1.12.1	14:30	15:20	9.4	8.4	砂泥	7.5Y 3/1	貝、貝殻片	3.9	>3.9
Ｊ－１(下層)						9.2						

＜猪苗代湖(北岸)Ⅰ・猪苗代湖(南岸)Ｊ　一般分析項目・放射性物質分析項目　水質＞

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD	COD	DO	電気伝導率	塩分	TOC	SS	濁度	Cs-134	Cs-137	Sr-90
	緯度	経度	日	時刻		(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mS/m)		(mg/L)	(mg/L)	(度)	(Bq/L)	(Bq/L)	(Bq/L)
Ｊ－１(表層)	37.4203°	140.1008°	R1.12.1	14:30	6.6	<0.5	1.4	11.2	11.7	0.06	0.7	<1	0.3	N.D.(0.0014)	0.0060	－
Ｊ－１(下層)					6.7	<0.5	1.3	11.1	11.7	0.06	0.8	<1	0.4	N.D.(0.0014)	0.0053	0.00087

注）N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

＜猪苗代湖(北岸)Ⅰ・猪苗代湖(南岸)Ｊ　一般分析項目・放射性物質分析項目　底質＞

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位	含水率	IL	TOC	土粒子の密度	粒度組成								Cs-134	Cs-137	Sr-90
	緯度	経度	日	時刻		$E_{N.H.E}$ (mV)	(%)	(%)	(mg/g-dry)	(g/cm^3)	礫 (2～75mm) (%)	粗砂 (0.85～2mm) (%)	中砂 (0.25～0.85mm) (%)	細砂 (0.075～0.25mm) (%)	シルト (0.005～0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)	最大粒径 (mm)	(Bq/kg-dry)	(Bq/kg-dry)	(Bq/kg-dry)
Ｊ－１	37.4203°	140.1008°	R1.12.1	15:20	6.6	402	24.8	1.5	3.2	2.682	0.3	2.4	51.7	37.0	4.7	3.9	0.26	9.5	6.3	100	0.19

注）N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

＜猪苗代湖(北岸)Ⅰ・猪苗代湖(南岸)Ｊ　分析項目　水生生物＞

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	(Bq/kg-wet)
I-1 I-2 (北岸)	湖内 および 長瀬川	37.5047° 37.4995°	140.1143° 140.1409°	R1.12.1	粗粒状有機物	－	－	－	－	水底落葉等	－	0.15	－	－	－	1.3	N.D.(0.50)	1.3	－
J-1 (南岸)	湖内 および 鬼沼周辺	37.4203°	140.1008°	R1.12.3	藻類・植物	－	－	－	－	プランクトン（浮遊藻類）	－	0.0059	－	－	－	N.D.	N.D.(6.3)	N.D.(6.1)	－
				R1.12.1	軟体動物	腹足	原始紐舌	ﾀﾆｼ	*Cipangopaludina chinensis laeta*	マルタニシ	20	0.044	未成体/成体	－	軟体部	N.D.	N.D.(1.1)	N.D.(0.99)	－
					脊椎動物	硬骨魚	ｽｽﾞｷ	ﾊｾﾞ	*Gymnogobius urotaenia*	ウキゴリ	11	0.028	未成魚	－	－	9.7	N.D.(2.3)	9.7	－

※１：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。
※２：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。
※３：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。
※４：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、 内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、 除去して測定した。
※５：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μｍのプランクトンネットで漉した残留物を指す。
※６：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。
※７：N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。
※８：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。